

# 令和8年度 銚子市立椎柴小学校 グランドデザイン

経営理念 「児童」「地域・保護者」「教職員」みんなの成長と幸せを創造する学校

## 【学習指導要領・学校教育指導の指針】

- 「生きる力」の育成
  - ・確かな学力
  - ・豊かな心 を育む
  - ・健やかな体
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 発達段階に応じたキャリア教育の推進
- 地域とともに歩む学校づくりの推進
- ふるさと学習の推進

## 【閉校に向けて (閉校の教育的意義を高める)】

- 愛校心の涵養
- 閉校業務及び閉校行事の充実
- 保護者・地域との連携
- 船木小との連携

◇統合校への期待感を高める◇

## 【学校教育目標】

「やさしく かしこく たくましく」

～豊かな心、確かな学力、健やかな体をもった椎柴っ子の育成～

## 【目指す児童像】

「やさしく かしこく たくましい子ども」

- ①思いやりのある子  
やさしく温かい心で人とふれあう子ども
- ②進んで考え学ぶ子  
主体的に学習し、常に考え、学び続ける子ども
- ③健康でたくましい子  
健やかな心身と挑戦しようとする強い気持ちをもつ子ども
- ④礼儀正しい子  
場にふさわしい態度と言葉遣いができる子ども
- ⑤人のためにはたらく子  
勤労・奉仕の精神をもち、人の役に立とうとする子ども

## 【目指す学校像】 「夢を持ち、一人一人がキラリ輝き、 みがき合う学校」

- 夢と希望に満ち、挨拶や歌声・歓声が響く明るく楽しい学校
- 互いに思いやり、協力し合う学校
- 安全・安心で整備されたきれいな学校
- 地域に開かれた信頼される学校

## 【目指す教職員像】 「明るく温かく誠実な教職員」

- 児童を慈しみ、児童と共に成長しようとする教職員
- 子どもたちの良さを認め、誉める教職員
- 何事にも情熱をもって、全力で取り組む教職員
- 研究と修養に積極的に励む教職員

## 学校教育目標具現化へ向けた取組

### 《学力向上・体力向上の取組》

- 個に応じた指導の充実
  - ・ICT機器の日常的な活用
- 基礎的・基本的な学力の向上
  - ・名人甲子園プロジェクトの見直しと計画的・継続的活用
- 読書活動の充実
  - ・読書賞の授与
  - ・日常的な読書の時間の確保
- 家庭学習の充実
  - ・「家庭学習の手引き」の活用
- 学習規律の定着
  - ・「学力向上スタンダード」の共通理解と実践
- 体を動かすことが好きな児童の育成
  - ・朝の体づくり運動の計画的な取組
- 運動会や体育的イベントの活用
  - ・校内マラソン大会やなわとび名人への取組
- 部活動の充実

### 《働き方改革の推進》

- ワークライフバランスの意識化
- 学校運営への参画意識向上
- 協働できる職場づくり
- 会議・研修の効率化推進
- 校務支援システムの活用
- ICT活用による業務効率化推進

### 《豊かな心の育成》

- 学校生活を楽しむ児童の育成
- 道徳の授業の充実
- いじめ等の早期発見・早期対応(問題が大きくなる前に解決)
- 相手を思いやる優しい心の育成
  - 学習ツールとしてのICT(タブレット)の活用
- 郷土を知り、郷土に誇りを持って成長できる児童の育成
  - 各学年、各教科における地域素材の教材化
  - 地域人材の活用・地域行事への参加
  - 「銚子市歌」「大漁節」の発信
- キャリア教育の推進
  - キャリアパスポートの活用

### 《確かな学力の育成》

- 思考力・判断力・表現力の育成
- アウトプット力の向上
- ・主体的・対話的で深い学びの実現

### 研究主題

人や社会と積極的にかかわり、伝える児童の育成  
～アウトプット力の向上を目指して～

## PDCAサイクルによる評価・改善

### 《安全安心で信頼される学校づくりの推進》

- いじめのない学級、学校づくり
  - ・教育課程全般を通じた道徳教育の充実
  - ・いじめ防止基本方針に基づく取組
  - ・学校生活アンケート、いじめアンケートをマンネリ化させない取組
- 教育相談活動の充実
  - ・スクールカウンセラーの活用
  - ・校内カウンセラーの設置と全校への周知
  - ・「あのねボックス」とタブレット版「あのねフォーム」の活用
- 安全教育・防災教育の推進
  - ・危機管理体制の見直し(危機管理マニュアルの見直し)
  - ・関係諸機関と連携した安全教育、地域の特性に応じた防災教育の推進(水防災教育の実施)
  - ・定期的な防災訓練、ワンポイント避難訓練の実施
  - ・交通安全教室、自転車安全教室の開催
  - ・複数の目で確認する安全点検
- 積極的な学校公開と情報提供
  - ・学校Webサイトの充実(ホームページ、マチコミタイムラインの活用)
- 《個に応じた支援の充実》
  - 児童理解とそれに基づく総合的な支援体制の構築
  - 保護者、専門機関等との連携
    - ・合理的配慮の提供